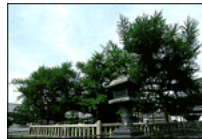


いよいよ西本願寺には国宝や重要文化財が数多くあり、会報15号では建造物の一部を紹介しました。今回は面白い伝説やエピソードを紹介します。

拝観される際には是非思い出し、て下さい。一層興味深く拝観できると思

①水噴きの銀杏

西本願寺の境内では、樹齢三百余年といわれる大きな銀杏の樹が目につきます。真っ直ぐ上に伸びているもので、この銀杏の樹は、枝が横に大きく広がって、柳のようになっています。下がり「逆さ銀杏」ともいわれています。



天然記念物

銀杏は水分を多く含んでいることで知られますが、その昔に西本願寺の南どりの興正寺本山が火事になったとき、この銀杏が水を噴き上げて、西本願寺の御影堂を守ったと伝えられています。

②「鴻の間」正面絵の秘密

本願寺書院は桃山文化の粋を極めた建造物ですが、中でも豊臣秀吉との対面にも使用された「鴻の間」はその最たるもので、床の間、正面に「狩野派渡辺了慶」が描いた



国宝「鴻の間」

一商山四皓の図」という大作の絵があり、実はこの絵は「逆遠近法」という変わった手法で描かれており、大広間を正面から描かれており、下がるほど、不思議なことに絵の中、この対面の際、正面床の間に座した小柄な秀吉を大きく見せるための秘策であるとも云われています。

③八方睨みの猫

鴻の間の東側、「狭屋の間」の天井には、渡辺了慶の一派が描いた六十九枚の画帳の絵があり、その中の一枚に可愛い猫の絵が描かれています。この猫は、どの方角から眺めても、この猫は、どの方角から眺めても、眺める人をじっと愛らし、差し、眺める人をじっと愛らし、かな、方々、猫の絵と呼ばれる傑作画で、大切な絵をネズミから守っているとも云われています。

④月と雁がおりなす立体感

鴻の間の西側「雁の間」の透かし彫りがあり、雁の優雅に羽ばたく背景に月が浮かんで



国宝「雁の間」

います。実はこの月、隣の「菊の間」に描かれたもので、透かし彫りの雁とマツチングして、飛んでいる。名月の夜空を雁が静かに飛んでいく風情が、立体的に表現されています。

⑤絵から飛び立った「雀」

鴻の間の西南角にある「雀の間」の襖には、円山応瑞の名作「雀」と竹の図」が描かれています。



国宝「雀の間」

襖の四方全体には六十八羽の雀が描かれていますが、実は最初は七十羽の雀が描かれていたのですが、その中の二羽が飛び出したので、つたと伝えられています。

⑥「唐門」の不思議

本山の南側には、豪壮で華麗な「唐門」があり、日本でも最高のものといわれています。



国宝「唐門」

生息しているが、不思議なこと、この「唐門」にだけは他の鳥も含めて留まらず、蜘蛛の巣さえもありません。

も遠慮しているようです。鳥や虫さえ

題材法話

*前号からのつづき

○真実との出会い

四千のお釈迦様が、説かれた八万
 四千の法門は、もろろんども
 けれども、真実の教えです。最後
 の最後に、川におぼれる、最後
 ない自分を見し、そのどこか
 ん、底の中で、私をつかみと
 り、必ず川を渡し、南無と
 誓つて、おつて、くさる、南無
 阿彌陀仏のみ教えに出会わ
 れ、自分、救われる、凡て、阿
 の、自分、救われる、凡て、阿
 弥陀仏、救われる、凡て、阿
 て、いる、一仏、説く、無量、
 よ、り、この、教、え、の、だ、と、
 れ、の、教、え、の、だ、と、
 実、の、教、え、の、だ、と、
 ら、の、教、え、の、だ、と、
 世、の、悦、び、の、う、た、で、す、
 て、の、悦、び、の、う、た、で、す、
 本、願、海、と、一、唯、入、説、く、
 生、ま、れ、に、な、つ、た、の、は、
 阿、弥、陀、様、の、本、願、を、入、説、
 た、め、で、あ、る、と、悦、ば、れ、
 て、い、ま、す、が、同、時、に、
 この、私、に、と、つ、て、は、



「唯、入、説、く、阿、弥、陀、本、願、海、」
 と、入、説、く、阿、弥、陀、本、願、海、
 を、入、説、く、阿、弥、陀、本、願、海、
 う、こ、と、が、あ、り、ま、す、こ、れ、が、
 の、世、界、で、あ、り、ま、す、こ、れ、が、
 ○本、願、の、海、と、煩、悩、の、海、
 中、で、も、う、ひ、と、つ、味、わ、い、
 い、と、こ、ろ、が、あ、り、ま、す、
 海、と、こ、ろ、が、あ、り、ま、す、
 こ、と、で、す、阿、弥、陀、様、の、
 を、入、説、く、阿、弥、陀、様、の、
 ら、な、く、い、ま、す、が、海、は、
 し、な、く、い、ま、す、が、海、は、
 く、な、く、い、ま、す、が、海、は、
 根、源、で、あ、り、ま、す、
 そ、の、も、の、を、分、け、隔、て、
 全、て、の、も、の、を、分、け、隔、て、
 受、け、容、れ、全、て、を、同、じ、
 の、味、と、こ、ろ、に、変、え、て、
 つ、た、と、こ、ろ、に、変、え、て、
 よ、く、阿、弥、陀、様、の、本、願、の、
 悲、の、深、さ、を、海、に、た、と、
 表、現、さ、れ、て、い、ま、す、
 も、一、乗、海、一、信、心、海、
 一、誓、願、海、一、大、宝、海、
 が、あ、り、ま、す、
 と、こ、ろ、が、も、う、一、方、
 煩、悩、も、際、限、な、く、深、く、



ま、よ、い、の、広、さ、に、果、て、し、
 い、と、こ、ろ、の、広、さ、に、果、て、し、
 く、一、群、生、海、一、群、生、と、
 衆、生、と、同、じ、意、味、で、私、た、ち、
 こ、と、を、指、し、て、い、ま、す、と、
 に、た、と、え、ら、れ、て、い、ま、す、
 死、の、苦、海、な、ど、と、い、つ、
 い、方、も、し、ば、し、ば、と、い、
 す、
 ○二、つ、の、海、は、
 阿、弥、陀、様、の、本、願、の、世、
 一、本、願、海、と、海、に、た、と、
 そ、れ、と、は、全、く、正、反、対、の、
 ち、の、煩、悩、の、世、界、も、同、じ、
 に、一、群、生、海、と、海、に、た、
 ら、な、く、い、ま、す、
 別、々、の、海、と、し、て、二、つ、
 て、い、る、の、で、し、よ、う、か、
 い、て、大、き、な、総、合、病、院、を、
 そ、の、病、院、の、中、で、は、様、々、
 な、病、氣、を、持、つ、た、人、達、が、
 り、病、人、の、世、界、を、作、り、
 て、い、ま、す、
 と、こ、ろ、が、同、時、に、病、院、
 は、あ、ら、ゆ、る、病、氣、を、治、す、
 の、設、備、と、薬、を、備、え、た、医、
 世、界、も、で、き、あ、が、つ、て、
 お、り、ま、す、
 そ、れ、で、は、そ、の、一、病、



人、の、世、界、と、一、医、者、の、世、
 「は、別、々、に、あ、る、の、で、し、
 か、け、つ、て、そ、う、で、は、な、く、
 病、人、が、居、る、か、ら、こ、そ、
 世、界、が、あ、る、の、で、す、
 一、見、全、く、反、対、の、世、界、
 と、し、て、成、り、立、つ、て、い、
 す、
 切、の、阿、弥、陀、様、の、本、願、
 に、は、お、か、れ、な、い、と、い、う、
 た、ち、の、上、に、か、け、ら、れ、
 で、あ、り、煩、悩、具、足、の、私、
 が、あ、る、か、ら、こ、そ、常、に、
 の、本、願、が、掛、け、ら、れ、
 で、す、
 も、し、も、私、た、ち、の、世、界、
 別、に、阿、弥、陀、様、の、世、界、
 な、ら、ば、私、た、ち、は、も、う、
 れ、よ、う、が、あ、り、ま、せ、
 一、群、生、海、が、そ、の、ま、
 阿、弥、陀、様、の、活、動、す、る、
 海、な、の、で、す、
 私、た、ち、の、生、き、る、世、界、
 そ、の、ま、ま、阿、弥、陀、様、の、
 中、に、包、ま、れ、て、お、り、
 ま、が、お、浄、土、へ、と、通、
 な、の、だ、と、味、わ、わ、せ、
 頂、く、こ、と、で、す、
 7月例会住職法話より

